



かみふらの



4

2014 NO.659

こ う ほう

特集

さようなら… そして、ありがとう

上富良野町立東中中学校

主な内容 平成26年度 町政・教育行政執行方針
町長と語ろう！ ～日の出住民会、草分住民会～
東中地区にしかない魅力を探る！
人事異動
新連載開始！「本日は… 晴れ時々くもり 一時雨」

最後の「東中中学校の生徒」による東中清流獅子舞
～ 第67回 上富良野町立東中中学校卒業証書授与式 ～
広報担当撮影

67年の歴史に幕。。。



特集

さようなら。。。

そして、ありがとう

上富良野町立東中中学校



地域の発展を支え、地域とともに歩んできた学び舎の灯りが、この上富良野からまた一つ消えました。開校から67年の歴史を刻み続け、送り出した2,080人の卒業生の中にはおじいちゃん、おばあちゃんから孫の代までの3世代が学んだ家庭も少なくない東中中学校。去る2月16日には閉校式典と閉校惜別会が、3月15日にはとうとう最後のセレモニーとなった第67回卒業式が行われ、67年にわたる歴史に幕が下ろされました。

今月は惜別の思いを込め、3月31日をもって閉校した東中中学校を特集してお伝えします。

東中中学校の沿革 (閉校記念誌より抜粋)

※部活動の成績は主に全道大会以上を掲載しています

昭和	22	23	24	25	26	29	31	37	40	42	43	52	58	59	60	61	62
沿革	・上富良野中学校東中分校として上富良野小学校で開校式(5月30日) ・翌日から東中中学校で授業開始(3学級137人)	・現在地が分校地として決定	・第1期工事として教室、職員室などが12月に竣工し、3学期から使用	・東中中学校として独立認可され、独立記念式 ・第2期工事として教室竣工	・町制施行で「上富良野町立東中中学校」に校名変更(6学級204人)	・校歌を制定 ・同窓会より校旗寄贈	・体育館新築落成(6学級218人)	・特別教室、宿直室などが竣工	・温床クラブ活動開始 (花いっぱい運動)	・開校20周年記念式典	・応援歌・生徒会歌制定	・校舎新築竣工(現校舎) ・開校30周年・校舎落成記念式典	・清流獅子舞保存会発足	・走り高跳び全道大会出場	・講堂改築落成式 ・清流獅子舞 上富良野町教育委員会文化奨励賞受賞 ・全道陸上出場	・走り高跳び全道大会出場	・開校40周年記念式・祝賀会 ・稲作体験学習開始



★閉校式典

2月16日午前10時から行われた式典には、地域の方々をはじめ同窓生、今まで勤務した教職員などの関係者315人が、それぞれの思いを胸に参列。

向山町長からは式辞の中で「故郷への熱い思いを抱き、固い絆で結ばれて地域と一体となって歩んできた東中学校。時代のすう勢とはいえ、閉校という苦渋の決断をした地域に敬意を表する。体験学習や郷土芸能、スポーツ活動、特にソフトテニスでは数々の輝かしい功績を残すなど、素直で積極的に何事にも取り組む生徒たちの姿勢は地域、教職員の皆さんの熱心な教育のたまもの」と学校を支えてきた方々への感謝の言葉が伝えられました。

東中学校最後の校長となった須賀美都江先生は「地域に根差した特色ある教育活動の伝統を守ろうとする生徒と教職員のやる気、保護者、地域、青年団の力強い応援があり、郷土愛に燃える人々の熱い思いを感じながら教育実践できたことは教師冥利（みよづり）に尽きる。東中学校で過ごしたすべての人たちの胸に残され、語り継がれていくことと思います」と、今までの中学校の歩みを振り返りました。式典の途中には東中小学校児童による元気あふれる「東中ソーラン」と代々、先輩から受け継いできた「東中清流獅子舞」が在校生と卒業生により披露され、式典に花を添えました。

生徒を代表し、生徒会長の谷口賢矢さんは閉校を控えたこの1年間を振り返り「地域の大切さ、仲間の大切さを感じた1年。最後の卒業生として、笑顔で『ありがとう』と言えるような最高の終わりにするためプレッシャーもあったが、地域の方が一緒に喜び、楽

しんで協力してくれた。閉校は悲しいけれど、勇気を持って新たなスタートラインに立つことを、皆さんの前で約束します」と力強く宣言。
最後に参列者全員で校歌を斉唱し、閉式となりました。

上富良野町立東中学校校歌

三
校旗に誓い 巢立ん朝の
空に希望の 陽は輝けり
眉根正しく 明日をみつめ
誠の道を 進まん我等
黎明の鐘を 今撞き鳴らし
いざや讃えん 我が母校

二
新樹のみどり 校舎に映えて
校庭ひろき 沢野の風に
はづめる手足 きほえる心
潑刺きたえ 伸びゆく我等
清新の鐘を 今撞き鳴らし
いざや讃えん 我が母校

一
朝夕の空に しずけき十勝岳の
孤高の峰を 標と仰ぎ
恩師の訓え み親の諭し
学びつとめて たゆまじ我等
希望の鐘を 今撞き鳴らし
いざや讃えん 我が母校

作詞 青地 繁
作曲 齊藤 学児

平成 年度	沿革
4	・清流獅子舞 道民芸術祭に参加
5	・テニス 全道大会出場
8	・テニス富良野地区大会 団体・個人 8連勝、全道大会出場
9	・管内インドアテニス大会個人3位 で全道大会出場 ・開校50周年記念式典・祝賀会
10	・インドアテニス全道大会出場
11	・インドアテニス全道大会出場
15	・インドアテニス 男女各2ペア全 道大会出場 ・女子テニス部 中体連富良野地区 大会団体15連勝
16	・全道インドアテニス大会 男子個人 ベスト8 ・清流獅子舞保存・継承活動で上川管 内教育実践表彰受賞
17	・全道インドアテニス大会 女子1 ペア出場
18	・全道インドアテニス大会 女子3 ペア出場
20	・テニス中体連全道大会 男子個人 出場、女子個人ベスト8 ・全道インドアテニス大会 男子1 ペア、女子1ペア出場 ・北海道学生書道展 表彰校 ・北海道学生書道展 学校奨励賞
21	・開校60周年記念式典・祝賀会
22	・全道インドアテニス大会 女子2 ペア出場
23	・全道インドアテニス大会 女子個人 ベスト8
24	・清流獅子舞保存会 上富良野町文 化賞受賞
25	・閉校式典、惜別会 ・3月31日をもって閉校

★閉校惜別会

式典に引き続き行われた惜別会。閉校事業実行委員会の高松克年会長は主催者を代表してのあいさつの中で、旭川市に移り住み、定年退職後に末期がんであることが判明した、ある卒業生のエピソードを紹介しました。

「彼は最期に行きたい所はないかと聞かれ『東中の十勝岳の見える所と母校の東中中学校を見たい』と…。12月24日、東中に来た彼はストレッチャーの上で、ピースをして母校と写真に収まりました。冬休みで誰もいない学校で、彼は何を見て、何を思っていたのか…。そして翌25日、たくさんの思い出とともに亡くなりました」と涙ながらに語り、「次の時代に私たちが何を残すことができるのか、今後の校舎の利用方法も含めて一緒に考えてほしい。そして新しい『絆』をつくり出したい」と訴えました。

「農協もなくなり、中学校もなくなる。よりどころがなくなるねえ…」との寂しい声も聞かれましたが、席には食事も用意され、久しぶりに会った仲間たちとカメラに収まる光景もあちらこちらで見られたほか、在校生から先生や保護者への感謝の言葉や、今までの歩みを記したビデオも上映され、会場にはさまざまな年代の「卒業生たち」のたくさんの楽しい思い出、惜別の思いが交錯しているようでした。

★最後の卒業式

「Create the Next Stage（次のステージを創造しよう）東中中のその先へ」とのサブタイトルが掲げられた、中学校最後の行事となる第67回卒業式が3月15日に行われました。

式典では「受験勉強、行事、そして閉校と大変な一年だったと思うが、決して弱音を言わず取り組んでいた姿は勇気と感動を与えてくれた。卒業おめでとう、そしてありがとう」（田中光浩PTA会長）、「この3年間は『すごいぞ、君たち』の連続でした。5人は東中地域全員の期待に応えてくれた」（須賀校長など、生徒として、また地域の一員として頑張ってきた卒業生5人を讃える言葉が贈られました。

授与された卒業証書を両親に手渡ししたり、在校生がいいたため東中小学校の児童から送辞が贈られたりと、あたたかい雰囲気で行われた。一人ひとりが行った答辞では地域の方々、先生、両親、そして仲間への感謝の気持ちとこれからの自分の抱負など、それぞれの思いが伝えられました。

式典後には東中中学校としては最後の獅子舞が披露され、地元青年団への獅子舞の引き継ぎ式が…。「みんなが地元に戻って来たときにまたできるよう、しっかりと守っていきます」。青年団からの熱い決意が述べられ、中学校最後の行事が終わりを告げました。



★学校への思い、今も…

3月31日をもって閉校となった東中中学校。しかし、卒業生の中で新たな動きが芽生えていました。

思い出深い母校の歴史が幕を閉じる知らせを受け、旭川に住む第6期(昭和28年)卒業生が奇数月の第一水曜日に集まり、親交を深める「東中(とんちゅう)東中中学校の愛称」一水会」が今年の1月8日に発足。3月5日には第2回目の会合がありました。

この日は6人が参加。この中でただ一人、閉校式典に参加した高橋繁夫さんから式典の様子が伝えられたほか、「夏には、みんなでベベル川にパンツ一丁で飛び込んだよね」

「校庭の土手から、よく山を眺めてた。その時の写真は今でも持ってる」「雪が降る前には小学4年生以上は全員、近くの山に石炭ストーブのたき付け用のまきを拾いに行ったっけ…」



笑顔で故郷の思い出を語り合う6人

「中学生のころ、おなかが痛くなって七転八倒したことがあって、そのときに来てくれたのが何と、獣医さんだったんだよ笑。馬がいつばいいたら、獣医さんは身近だったよね」

などと、故郷での懐かしい思い出話に花が咲いていました。

「気候が良くなったら、みんなでバスに乗って母校を見に行こうよ」

「うん、行こう！」

故郷の東中を離れ、自然と足が遠のいてしまった母校。今後の校舎の活用方法に話が及ぶと、そんな声が上がりました。閉校式典の席上で配られた案内チラシには、こう書かれています。

「それぞれの事情で故郷を離れ古希を過ぎた今も、まぶたに浮かぶ懐かしい学び舎、そして十勝連山の雄姿。閉校の知らせは、絆が外されたような寂しく辛いものでしたが、故郷が輝き続けることを願い、楽しく前向きな集いを発足することとなりました。皆様のご参加をお待ちしております」

会には卒業生のほか、教職員など東中中学校にゆかりのある方であればどなたでも参加OK。連絡先は高橋繁夫さん(0166-222-2158)となっています。旭川近郊に住んでいる家族や親類などにぜひお声掛けください。残念ながら学校は閉校となりましたが、あの校舎で過ごした思い出の日々は、卒業生の皆さん一人ひとりの胸の中で永遠に輝き続けますように…。

思い出のアルバム



懐かしの旧校舎



旧校舎の窓から…



実習田での田植え



数々の栄光!



最後の小・中学校合同運動会



十勝岳を背に、天狗と獅子が舞う

平成26年度

町政執行方針



向山富夫町長

我が国の経済状況は、各種指標によると景気は緩やかに回復している状況にあります。地方へはいまだ及んでおらず、地方財政計画では一般財源に

人や地域とつながりのある暮らしづくり

町民共有の願いである健康でいきいきとした暮らしの実現に向け「健康づくり推進のまち」宣言を踏まえ、健康づくり活動を積極的に支援します。

また、独り暮らしの高齢者や障がい者、子育て中の家庭など支援を必要とする方々が地域の中で、心豊かに安心して自立した生活ができるよう本年度スタートの第2次地域福祉計画を基本にサービスの提供を推進します。

おいて前年度比1%増と平成25年度を上回る水準とされたものの、地方公共団体の財源の多くを占める地方交付税については同1%減とされており、大変厳しい状況です。

上富良野町の新年度予算は、私がめざしている「町民の皆さんが安心して住み続けられるまちづくり」を念頭にこれまでの課題解決をはじめ、それぞれの事業実施には優先順位などを十分考慮するとともに、今後見込まれる財政需要に対する財源確保の状況も注視しながら、予算編成を行いました。

穏やかに安心して過ごせる暮らしづくり

第5期介護保険事業計画の最終年で

農畜産業には、生産者自らが取り組む地元消費者などとの交流・販売活動に支援を行うほか、生産者による直売、一次生産品を加工・商品化する動きも見られることから、それらの取り組みが広がり、安定した経営につながるよう高付加価値化への取り組みを支援し、6次産業化の創出に努めます。



春耕の風景

ある本年度は介護予防、重度化予防に重点を置いて取り組むほか、団塊の世代が後期高齢を迎える2025年の超高齢社会を見据え、「地域包括ケアシステム」の構築をめざします。

また、来年度スタートする子ども・子育て新制度に向け条例制定を進め、「子ども・子育て支援事業計画」を策定して町の考え方を示します。

観光振興では自然景観や食資源を生かした戦略的な取り組みがこれからのまちづくりの大きな柱との考えに立ち、観光事業者だけでなく地域全体での取り組みとなるよう、異業種間の連携を進める支援などを行います。

快適で楽しく潤いある暮らしづくり

街なかの魅力アップと新たな賑わいづくりの拠点として、セントラルプラザ横の中央コミュニティ広場にテント

型の常設イベント会場を設置し、町民の交流と活動の場所として広く活用いただくことで、地域経済への波及が図られるよう努めます。

高速情報通信基盤の整備は、昨年11月から市街地において民設民営による固定系光サービスが開始されましたが、農村部においては民設民営によるサービス提供が見込めないことから、公設による固定系高速無線を利用したネットワーク環境の整備を進めます。

地域の宝を守り・育み・活用できる暮らしづくり

町の基幹産業である農畜産業・商業の後継者確保と育成は大きな課題であることから、後継者や担い手に対する奨励・給付金制度を継続するほか、活力ある地域づくりの中核的役割を担えるリーダー育成のため、引き続き「人材育成アカデミー事業」を実施するなど、地域力の向上につながる担い手育成に積極的に取り組みます。

誇りと責任・役割を分かちあえる暮らしづくり

自治基本条例について昨年度、町民アンケートを実施し、協働のまちづくり推進委員会から将来に向けて条例に沿ったまちづくりが行われるよう3つの提言をいただいたことから、これを尊重しつつ、今後も「協働のまちづくり」を着実に推進するよう努めます。

平成26年度

教育行政執行方針



服部久和 教育長

少子高齢化や高度情報化、価値観の多様化、ライフスタイルの変化などにより教育に対する課題やニーズが多様化している中、「人と人との支え合

学校教育の推進

平成21年度から施行している「上富良野町教育振興基本計画」10か年の振り返りであり、「夢ひろげ、たくましく未来を切り拓く児童生徒の育成」を基本方針に「確かな学力と豊かな心やたくましい体の育成」「開かれ信頼される学校づくりの推進」「人間力を磨く教師の育成」「教育条件整備の充実」の目標実現に向かって一層の深化充実を図り、学校教育を進めます。

い」や「優しく人を思いやる心」などは教育がめざす原点と考えており、幼児から高齢者までライフステージに応じた学習機会を提供し、一人ひとりが自ら進んで学ぶことに生きがいや喜びを感じ、「笑顔」があふれる教育行政に取り組んでいきます。

そのため、町民憲章を踏まえ、「上富良野町教育振興基本計画」「教育目標」を基本とし、十勝岳の自然豊かな地域素材や人材を生かし、家庭・学校・地域が連携し「次代を担う豊かな人づくり」に努めます。

全国学力・学習状況調査では小学校は全道平均を上回り、中学校は全国平均より高い傾向が見られますが、各科目で基本的な「知識」の問題が、実生活のさまざまな場面で「活用」する問題よりも平均正答率が低い傾向が見られることから、引き続き基礎的な知識や技能、学び方を身に付けられるよう授業力を高めていきます。

児童・生徒の指導などでは、いじめや不登校、虐待、自殺、体罰などの問題が後を絶たない現状がありますが、

天体観望会



本町においては学校・家庭・地域の努力と連携協力によって問題は少ない状況にあります。引き続き、児童生徒などが発する危険信号を見逃さないよう早期発見や未然防止に努めます。

特認校として教科指導と運動した体験活動の教育を推進してきた江幌小学校が平成27年3月をもって104年にわたる歴史を閉じることになり、校舎などの跡利用について、地域や関係機関の意見を伺いながら検討を進めます。

社会教育の推進

町民一人ひとりに生涯にわたって自主的に学ぶ機会を提供し「豊かな心と健やかな体を育み、潤いある地域づくりをめざす生涯学習」を推進します。

そのため、平成26年度からの第8次社会教育中期計画に基づき国・北海道の施策とも連携し、家庭・学校・地域

社会のそれぞれが持つ教育機能の充実や連携・融合を進めます。

家庭教育については、明るく安心して子育てを進められる家庭環境づくりをめざし、講演会や研修会の拡充をはじめ、地域の教育力も活用させていただきながらその充実を図ります。

子どもたちの放課後の「より安全で安心な居場所づくり事業」として放課後スクールと放課後クラブを引き続き運営するとともに、地域の協力により実施している学校支援ボランティアなどの活動を通じ、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを行っていきます。

成人女性対象の「女性学級」、高齢者対象の「いしずえ大学」を引き続き開設し、生きがいづくりと社会参加の促進を図ります。また、成人者や高齢者が培った知識や技能を学習・体験活動に生かすなど、学び合い、支え合う人づくり・町づくりを進めます。

心に安らぎと潤い、心の豊かさをもたらす文化活動の振興として、優れた芸術・芸能・文化に触れる機会、活動に参加する機会の充実を図り、町民の文化芸術にかかわる活動を支援します。

スポーツ振興ではスポーツ推進委員や各スポーツ団体とともに各種スポーツ大会を開催するほか、地域や各関係団体との連携を図りながら指導者への支援を行います。また、スポーツの競技力向上や各種スポーツ団体の自主的な活動の支援にも努めます。

平成26年度の町の予算の内容は、別冊「知っておきたいことしのしごと」をご覧ください。



日の出住民会 草分住民会

町内のグループ・団体・町内会などが町長とさまざまなことを語り合う「町長と語り合う」。

2月26日に日の出住民会の24人、28日には草分住民会の17人が農業や農村部を取り巻く問題をはじめ、上富良野町の特産物を町内外へどのようにPRしていくかなどを町長と熱心に語り合いました。

日の出公園の活用は？

●日の出住民会 日の出公園の利活用はどのように考えていますか？ 展望台まで

上がるのにスキリフトの活用や道路整備はできないでしょうか？

◇町長 町では、日の出公園を以前のようにラベンダーが咲き誇る公園として皆さんに満足してもらうため、3年かけて株の植え替えを行いました。

近年では、足が不自由な高齢者への対応が求められており、車で展望台に上られるよう、早期に道路を整備しようと考えています。スキリフトについては股に挟むタイプから腰かけタイプへの変更を望む声もありますが、更新するには非常に大きな投資を伴うため難しい状況です。しかし、「観光」は町の産業振興の中で優先度が高いものですから、日の出公園整備はすばらしいものにしてほしいと思っています。

地区周辺の川の管理を

●日の出住民会 キャンプ場周辺の用水路が、大雨が降ると一帯にはらん

し、平成23年の洪水にはアパートの土台が削られたり、床下浸水もあった。以前から役場に対応を依頼しています。が、どうなっていますか？

■北向建設水道課長 災害が発生し、町長の指示で改修のため動いていますが、町の財政が苦しく、国や北海道

2月26日の出住民会

の補助事業を検討してきたところ、平成26年に調査のめどが立ちました。

◇町長 優先順位的には、日の出地区の事業が急を要すると考えていますので、1年でも早まるように担当へ指示し、事業を行う北海道にも早期に実施するよう要望しています。

●日の出住民会 避難場所である日東会館の近くは河川のはらんなどで被害が発生する場所にあります。そこで、日の出公園を複合的な避難施設として使えるようにできないでしょうか？ 高台なので安全だし、ヘリコプターも降りられるようにしてくれば安心して暮らせるのではないかと思います。

■林町民生活課長 総務課と協議のうえ、検討課題としていきたいと思っています。

地場産品販売で町を元気に

●日の出住民会 道の駅があれば、地場産品の販売促進ができるのでは？

■辻産業振興課長 町では販売所について、地場産品の販売だけでなく人が集まる場、地域の情報発信の場としても関心を持っています。昨今、農家の方の地元農産物を使った特産品の開発や直売も町内で広がりを見せているの

で、今後の動向によっては施設整備を積極的に考えます。

◇町長 私も3年前までは町を訪れる人に向けて町のPRをできるような、見晴台公園に拠点を置きたいと考えていました。どこかに「あればいい」ではなく効果的な場所になれば十分に機能果たせず、農産物は冬季の収穫がないため、夏場に集客を得られる場所に施設を置くことが重要となります。今後、予定されています高規格道路の整備計画などを見極め、情報発信の機能も含めて施設整備の考え方を示していきたいと思っています。

ウォーキングで健康増進

●日の出住民会 町の予算に余裕があればですが、日の出の基線道路と北27号西道路の辺りに安全に散歩できる周回路があればいいですね。自分が高齢者になって、健康のためにそのような場所が必要だなと感じてきました。

◇町長 町民の皆さんから富良野川の堤防をウォーキングコースにしてほしいという意見もあり、健康づくりの手段として大切なことです。必要な整備は今後も検討させていただきたいと思っています。



町長と語ろう!

農地を守るために

●**草分住民会** 草分地区の河川内の立木、土砂上げについてですが、北28号仲道路は狭いところもあり側溝に車が落ちたり、除雪で砂利などが入り側溝の掃除も大変。付近の畑の表土も流入してきてしまうので、何とか対処はできないでしょうか？

きないでしょうか？

■**北向建設水道課長** 側溝の土砂上げについては優先順位が高いものから整備しますが、整備をしてもすぐ土砂で埋まる個所もあるので、畑からの流出についても、併せて対策を考えます。

◇**町長** ほかの地域では、中山間地域等直接支払制度を活用して土の流出の問題を食い止めた実例もあります。町では事業費を準備し、お互いに協力しながら進めたいと考えていますので、必要な場合はご連絡ください。

農産物に付加価値を

●**草分住民会** 上富良野も美瑛のように道の駅をつくり、特産品と町全体をアピールできたらと思う。今のままで物足りないですよ。

◇**町長** 町民の皆さんから町の特産品を扱ったアンテナショップがあればいいという声をお聞きます。私もそのような場所で販売し、「農産物に付加価値をつけて産業の活性化を図る」とことは重要な課題だと思っています。

また、施設をつくることは可能ですが、将来も安定した活用には見極めが重要です。

●**草分住民会** 地元の人でも地元の野菜を買ったことがなかなかできないし、町を通りかかった人が豚サガリなどの地元の名産品を簡単に買えるような施設があればやっぱり便利だと思う。6次産業化に取り組んでいるところもあり、見晴台公園に野菜などの特産品をもっと置けばいいPRになるので、力を入れてほしいです。農家としても、経営形態の選択肢が増えることにもなります。

◇**町長** 町は「健康づくりのまち」宣言をして1日350g野菜を食べようと呼びかけていますが、特産品でもある野菜の消費がどうしても少なく、町民の皆さんからは「地元産の野菜が手に入らない」という声が聞こえています。

特に、冬季の農産物の生産は難しく、保存を含めて通年供給できる仕組みがあればいいと思います。今年度、セントラルプラザ横の公園に常設テントを設けて、町民の皆さんが集える拠点づくりをしたいと考えていますので、ぜひ活用していただきたい。

TPP問題を知ってもらおう

●**草分住民会** TPP問題で、農業に携わっている私たちには情報が入ってきますが、町民の皆さんの理解が浅く感じます。「TPPは悪いこと」と強調されがちですが、良い部分、悪い部分などを分かりやすく知らせてほしいです。

◇**町長** 町ではTPPに反対してはいますが、農家以外の方は実際はどういうものか理解されていないと思います。町の将来を守るためにも町民の皆さんに知らせることは必要だと考えていますので、適切な時期に広報できるように調整していきます。

自治会活動への支援は？

●**草分住民会** 70歳代が多くおり、健康のために住民会で「ふまねつと運動」を取り入れようと7人が指導者研修を受けました。必要な用具を準備するため、町で援助していただけませんか？

■**林町民生活課長** 平成19年度から実施している自治会活動奨励補助が利用できます。ほかの自治会でも利用してふまねつと用品や会館のいすなどを購入していますので、ぜひ利用ください。

今回の意見交換を通じて、向山町長から「もっとこのような機会を設けて、直接皆さんから意見を伺いたい」との話がありました。

町民の皆さんの意見を直接町政に反映できる貴重な機会ですので、この事業を積極的に活用ください！

問合せ 町民生活課自治推進班

☎6985



第2回目のワークショップの様子

おいしい食材、美しい風景、そして笑顔の人たち
豊かな水と肥沃な大地に育まれた、この故郷に誇りを持って…

地域を愛し、誇りに思うことが
地域の魅力をアップする

観光庁が進める「住んでよし」の観光地域づくり事業は、従来の観光スタイルとは違い、自分たちが住む地域に誇りを持って暮らす人々と観光客が触れ合い、その地域の時間の流れや空気感の中に身を置くことでまた訪れたくなる、そんな好循環を生む「滞在交流型観光」のこと。

とはいえ、東中から眺める十勝岳連峰、一面に広がる水田や玉ねぎ畑、冬の雪原などは、地元の人にとってはごくごく当たり前の見慣れた光景。

第1回目のワークショップでは講師の観光専門家 坂元英俊さんから「自分たちが暮らしている場でどれだけ『良い』と思えるものを持っているか、どうして『良い』と思うのか、その理由を自分で理解して認識し、訪れる人に伝えることが重要。地域の観光資源を活用しないのは、資源が地域に存在しないのと同じ」との話があり、第2回目はグループワーク形式で東中の持つ魅力についての洗い出しが行われ、出された内容に「今まで東中には何も無いと思っていたが、希望が持てた」との意見も聞かれました。

住んでよし 訪れてよしの観光地域づくり事業 東中地区にしかない 魅力を探る！

観光庁の「住んでよし 訪れてよし」の観光地域づくり手法の調査検討事業に町内の東中地区が選ばれ、一般町民を対象に昨年11月27日と12月18日の2回にわたりワークショップを開催。3月8日にはモデルルートをめぐるモニターツアーが行われました。町内の他地区とは違った、東中ならではの魅力を再発見する取り組みを取材しました。

東中地区でラベンダー栽培が始まった当時を語る太田信夫さん



こんなにあるぞ！
東中の「お・た・の・し・み」

3月8日のモニターツアー。まずは地元農家 岩田浩志さんの越冬キャベツ試食でスタート。雪の下で寝かせることでみずみずしくなり、糖度も上がるそう、参加者はちぎって食べながら「甘いっ！」「うまいっ！」を連発。次に東中神社へ向かい、東中地区の住民会長でもある高松克年さんの解説を聞いて、開拓からまだ華やかだったころの東中の歴史に触れた一行は「ラベンダー発祥の地」記念碑へ。

東中地区は昭和23年に富良野地方で初めてラベンダー栽培を始めた真の「発祥の地」。記念碑を前に、当時から現在に至るまでラベンダーを栽培し続けている太田信夫さんから語られる苦勞話に耳を傾けました。

昼食はファームレストラン「あぜ道より道」で、試食した甘々い越冬キャベツをはじめ東中産の野菜がたっぷり入ったポトフ。数量限定ですぐに完売してしまう人気メニューだけあって、素材の味が引き立つ逸品です！

満腹になった後は少し運動。NPO法人環境ボランティア野山人のスタッフ



地元産野菜たっぷりのポトフ



春の息吹を感じる小旅行



あつあつの野菜まん♪

フによるガイドで多田農園近くのべべルイ川のほとりを、スノーシューを履いて小一時間散策。時にはアカゲラや天然記念物のオジロワシも顔をのぞかせることもあるそうで、川のせせらぎを聞きながら、陽気に誘われ芽吹いてきた木々に春を感じる小旅行です。体を動かした後はやっぱりおやつ！多田農園内にあるファームカフェ「イルベーベ」でふかしたアツアツの野菜まんを、入れたてのにんじん茶と一緒にいただきます。いずれも同農園の手づくりで、東中という土地の空気感そのままのやさしい味でした。

「『東中』の冬を満喫するモニターツアー」と題された今回のツアー。東中地区在住の参加者からは「東中にいながら何にも知らなかった」「いろいろなことを知ることができて、見慣れた風景が特別な風景に見えてきた」、地区外の方からは「人の『顔』がよく見えるツアーで楽しかった」など、好意的な声が聞かれました。今後は、観光客の受け入れ態勢の整備や季節に応じたルートの掘り起こしなどの検討を重ね、新たな観光客誘致への可能性を模索します。

人事異動

町職員人事

総務課総務班

☎6400

町職員人事をお知らせします。

※管理職・新規採用(4月1日付)と退職(3月31日付)のみ掲載です。

▽保健福祉課子ども・子育て担当課長
兼臨時給付金担当 吉岡雅彦(北海道後期高齢者医療広域連合派遣)▽建設水道課長 佐藤清(総務課基地調整室長)▽農業委員会事務局長 北越克彦(建設水道課上下水道班主幹)▽総務課基地調整室長 眞鍋一洋(町民生活課収納対策担当主幹兼税務班主幹)▽町民生活課収納対策担当主幹兼税務班主幹兼臨時給付金担当 齊藤繁(会計課主査)▽保健福祉課子どもセンター施設長 吉田泰子(子どもセンター主査)▽産業振興課農業振興班主幹 菊地敏(農業振興班主査)▽建設水道課上下水道班主幹 安川伸治(上下水道班主査)▽総務課付主幹 坂弥雅彦(農業委員会事務局長)

●退職

▽北向一博(建設水道課長)▽加藤文敬(保健福祉課食育推進担当主幹)▽高松一江(保健福祉課中央保育所施設長)▽長谷山利恵子(ラベンダーハイッ調理主査)▽西尾美和子(町立病院准看護

師)▽佐藤佳菜子(建設水道課建設班主任)▽笹谷麻衣子(町立病院看護師)▽森本美里(町民生活課総合窓口班主事)

●新規採用

(写真上段左から)▽建設水道課 島田久、杉本貴史▽教育振興課 田中智博



(下段左から)▽産業振興課 菊地翔太▽保健福祉課 栄養士小柳綾子▽町民生活課 鈴木佑果

消防本部・消防署人事

富良野広域連合消防本部

☎1119

富良野広域連合消防本部と上富良野消防署の人事をお知らせします。

消防本部

▽消防本部予防課長 丸山伸一(中富良野支署長)

上富良野消防署

●新規採用

▽上富良野消防署指導係

富田恭平



教職員人事

教育振興課学校教育班

☎6699

教職員人事をお知らせします。

上富良野小学校

●転入(4月1日付)

▽松本由紀(旭川市立向陵小学校)▽山田顕次(旭川市立高台小学校)▽相馬靖(旭川市立東光小学校)▽中田祐二(美瑛町立美瑛小学校)▽松岡政哉(旭川市立永山西小学校)▽松村由貴(旭川市立神居東小学校)▽事務職員 唐島仁(東神楽町立東神楽小学校)

●転出(3月31日付)

▽宮越留美子(美瑛町立美瑛東小学校)▽才川美香(旭川市立神居小学校)▽郡健二郎(旭川市立新富小学校)▽事務職員 長谷川薫(東神楽町立忠栄小学校)

●退職

▽佐々木剛

上富良野西小学校

●転入(4月1日付)

▽教頭 川村寿典(中富良野町立旭中小学校)▽鶴野聖志(旭川市立旭川第五小学校)▽今出優(占冠村立占冠中学校)▽宮野輝男(剣淵町立剣淵小学校)

●転出(3月31日付)

▽教頭 中村庄二(名寄市立東風連小学校)校長▽瀬波俊直(美瑛町立美瑛東小学校)▽佐野智美(旭川市立永山小学校)

東中小学校

●転入(4月1日付)

▽教頭 相馬美智枝(鷹栖町立北野小学校教諭)▽石前真司(中富良野町立中富良野小学校)▽森田久美(旭川市立知新小学校)

●転出(3月31日付)

▽教頭 山口真希(旭川市立大有小学校)

江幌小学校

●転出(3月31日付)

▽教頭 加藤聖(美瑛町立美馬牛小学校)▽稲本雄一(枝幸郡枝幸町立岡島小学校教諭)▽養護教諭 橋本一葉(旭川市立緑が丘小学校)▽事務職員 田中邦彦(旭川市立東光小学校)

上富良野中学校

●転入(4月1日付)

▽教頭 富永浩司(中川町立中川中学校)▽坂東浩行(旭川市立永山南中学校)▽桑原恵(富良野市立布礼別中学校)▽橋本めぐみ(旭川市立明星中学校)

●転出(3月31日付)

▽教頭 鈴木薫(美瑛町立明德中学校)校長▽島田建一郎(旭川市立北都中学校)▽三谷拓矢(南富良野町立南富良野中学校)▽高木志磨人(旭川市立春光台中学校)▽間野修平(旭川市立北星中学校)

東中学校

●転出(3月31日付)

▽青木利香(富良野市立鳥沼小学校)▽田中秀平(旭川市立神居中学校)▽山崎裕志(剣淵町立剣淵中学校)▽櫻庭絢香(富良野市立富良野西中学校)

3/7 満足度を高める指し方を学ぶ おもてなし塾



Rainbow Customer Satisfaction Advisor Office
の野寺菜穂子代表が実践的なポイントを紹介

3/13 興農社が旭川しんきん 産業振興奨励賞を受賞

新たな技術や商品などの開発により、地域経済・産業の発展に貢献した企業や個人を表彰する「旭川しんきん産業振興奨励賞」の表彰式が、旭川信用金庫本店で行われました。

旭川・富良野地区を対象に（一財）旭川しんきん地域振興基金が行っているもので、応募のあった12点の中から町内静修地区の（有）興農社（春名正義取締役）が奨励賞を受賞。企業や地域と連携し上富良野産の希少小麦「はるゆたか」を使ったパスタやうどん、ラーメンなどの自社製品開発に先進的に取り組んだ姿勢が評価されました。



一新したパッケージ。左が春名正義取締役

同社では旭川のデザイン会社と連携し既存製品のパッケージを一新。新たな地域ブランドの確立をめざします。

今年度第2回目となる観光おもてなし向上塾が、消防署で行われました。「観光客の満足度アップにつながる対応を実践的に学ぶ」と題された講座には、観光ボランティアをはじめ観光に携わる業種の方たちが参加。講師の野寺代表からは「人は相手の非言語の部分からイメージを拾うもの。笑顔だったり、声のトーンだったり、言葉のプラスαの部分が重要。そして相手に満足してもらうには、まず相手をよく見て判断し、相手に合わせる。自分を押し付けてはダメ」との基本的な心構えのほか、実際の接客の場面に合わせた言葉遣いや応対方法などの注意点が伝えられました。

3/13 呼吸法とストレッチで 元気に生命の貯蓄体操

国民健康保険事業の一環として、NPO法人生命の貯蓄体操普及会道北総支部の工藤晴美支部長を講師に、社会教育総合センターで行われました。

この体操で重要とされるのは呼吸法。へその下を意識し、深く息を吸い吐くだけで血流がよくなり、むくみや冷えを改善して自律神経を整えるほか、一緒に行うストレッチで体の関節のゆがみや筋肉をほぐすため、膝や腰の痛みを軽減することもできます。

参加者は畳の上に座り、リラックスした表情でストレッチや簡単な筋力トレーニングなどを学びました。

3/14 来るべき日に備えを 防災講演会



十勝岳噴火の映像を前に語る岡田弘名誉教授

北海道大学の岡田弘名誉教授を講師に迎え、「最近活発な世界の火山噴火と十勝岳の備え」をテーマに保健福祉総合センターかみんで行われました。

岡田名誉教授は近年、噴火した国内外の火山の事例での課題のほか、1988年の十勝岳噴火の報道を検証し、時系列でどのような流れがあったのかを掘り下げることで今後の教訓とする自らの研究などを紹介。「行政、住民、科学者の協働により防災体制をいち早く築いてきたのが上富良野町と美瑛町。今後も、現場で何が起きているのか関係機関が情報を共有することが大切」と話し、来たるべき十勝岳噴火への備えの重要性が伝えられました。



深く呼吸をしながら、無理せずストレッチ

毎週、月・木曜日の13時から同会場が教室が開かれていますので、健康のために始めてはいかがでしょうか？



親子ボブスレー大会では転倒者続出！

3/23 温泉と雪遊びを満喫！ 白銀荘で湯まわり

過ぎゆく冬を惜しみつ
つ：かんじきツアー
下は小学生、上は79歳までが参加し
て、かんじきツアーが行われました。
コースは白銀荘を出発して三段山の
中腹にある通称「二段目」まで登
り、白銀荘に戻ってくる約4km。
当日は曇天で雪は降らなかった
ものの、前日に降り積もった雪は
まだ粉雪状態！ 参加した子ども
たちはスノーシューをはいたまま
新雪の上を競争したり、雪の中に
倒れ込んだりと元気がいっぱい。春
の足音が近づいてきたふもとは
違った、山の中の「冬」の銀世界
を楽しんでいました。



前日に降り積もった雪の中を歩く参加者

第12回湯まわりが、吹上温泉保養
センター白銀荘で行われました。この
日の入館料が半額ということもあり、
まだ雪深い山の温泉を楽しむに480人
が来館しました。
館内では甘酒の無料配布や豪華賞品
の当たるくじ、大正琴などで盛り上
がり、外のキャンプ場ではチューブ滑り
やスノーラフティング、スノーモービ
ル体験も。お父さんやお母さんが子ど
もをそりに乗せて走る親子ボブスレー
大会では、子どもに急かされて焦るあ
まり、やわらかい雪に足を取られて転
倒するお父さんもおり、冷たい雪が吹
きつける中、会場は笑いや歓声に包ま
れていました。

3/27 楽しく汗をかこう！ 障がい者スポーツ教室



足を上げてボールリレー。腹筋がいた〜い

3/31 新1年生を事故から守 る交通安全グッズ贈呈

商工会女性部と生活安全推進協議会
が新入学児童へ贈る交通安全グッズを
製作し、町教育委員
会と町内の小学校に
贈呈しました。

商工会女性部から
は3月24日に交通安
全を願い手作りした
日本ハムファイター
ズの人気キャラB・
Bのマスコットが服
部教育長へ、生活安
全推進協議会からは
運動者が児童を見つ



商工会女性部(上段)からは交通安全マス
コットが、生活安全推進協議会(下段)か
らはランドセルカバーが贈呈されました

けやすいよう蛍光色の生地町の「当
地キャラ「らべとん」が描かれたラン
ドセルカバーが31日、上富良野小と上
富良野西小の校長に手渡されました。

障がい者12人が参加して、保健福祉
総合センターがみんで行われました。
回す人と飛ぶ人、交代しながらの縄
跳びや、足でボールを挟み隣の人に送
るリレーで心地よい汗を流しました。
障がいを持つ方の外出の機会を増や
し、健康促進を目的に今年度は10回開
催し、この日が今年度の最終回。終了
後には「楽しいっ！ 次はいつやる
の？」と弾んだ声も聞かれました。
講師でシンコースポーツの三浦恵理
健康運動指導士は「体調にもよります
が、回数を重ねるにつれ、できる運動
が増えて楽しくなっているようです。
この調子で運動を続けてほしい」と参
加者の変化を喜んでいました。

今日も
あしたも
あさっても

やっぱり
このまちが
好きだから

上富良野町生活安全推進協議会

交通安全部 交通安全指導員

菅野 敏子 さん 田中 陽子 さん

かんの・としこ 1950年、富良野市生まれ。

たなか・ようこ 1952年、上富良野町生まれ。

菅野さんは平成6年から20年間、田中さんは平成10年から16年間、上富良野小学校区域担当の「緑のおばさん」として登・下校時に通学路に立ち、子どもたちの交通安全指導に当たっています。

登校時には月・金曜日の毎日、下校時には月・水・金曜日の週3回、雨の日も風の日も、そして夏の暑い日も冬の雪の日も通学路に立ち、「おはようございます」と声を掛けながら子どもたちを見守る2人。本来は週3回の勤務ですが、火・木曜日の朝は無償のボランティアとして指導に立ちます。

子どもたちからは「緑のおばさん」の愛称で呼ばれることが多いそうですが、菅野さんには親しみを込めて「菅（かん）ちゃん」と呼びます。

「昔からそう呼ばれてます。この仕事を始めたとき小学生だった子に、今では小学校2・3年生の子どもがいるくらいだから、誰かがそう呼んで、それがずっとつながっているのかもしれないですね」（菅野さん）

実際に「うちの子が1年生になった

ので、よろしくお願いします」というかつての小学生（？）もいるそうで、「今度就職するんだとか、何人か来て、大学に入るんだよって声を掛けてくれることもあって、そんなときはこんなに大きくなったんだこの子たち、ってあらためて思います。そして『やってきてよかったな』って、やりがいを感じる瞬間です」（田中さん）。

毎日顔を合わせるだけに、子どもたちにとってはとても身近な存在。立っている、学校でのことや家庭のことなどいろいろな話が飛び出します。

「昨日、お父さんがこうだったよとか、学校でこんなことをしたよとか、いろいろ話してくれます。『こういう事情なんだけど、どう思う？』って聞いてくる子もいますよ」（田中さん）

「『いつも一緒にあの子はどしたの？』って聞いたら『ちよっとトラブルがあつて』なんて…。子どもたちなりに、いろいろな事情があるんだなって思いますね」（菅野さん）

4月を迎え、ぴっかぴっかの1年生が真新しいランドセルを背負って、親から離れ、自分たちだけで登校する季節がやってきました。

「最初のうちは緊張してるけど、日にちがたつにつれてバァーって走って道路に飛び出しちゃったり、私たちがいるから安全だと思って左右を確認しなかったりと慣れが出てきます。そして『フーッ！ 危ないでしょ』って



「おはようございます！」。子どもたちの元気なあいさつが通学路に響く、朝の登校時の光景。

問合せ

町民生活課自治推進班 ☎6985



楽しく学ぼう
いつまでも!

生涯学習情報

問合せ・申込み
教育振興課社会教育班 ☎5511

イースターパーティー

ブレンダ先生と一緒に外国の文化に触れながら、いろいろなゲームをして楽しもう!

日時 4月26日(土) 8時30分受付
9時開始、11時30分終了予定

場所 公民館

参加料 1人200円(保険料、材料代)

対象者 小学1～6年生

申込期限 4月21日(月)

※絵の具などを使いますので、汚れてもかまわない、運動のできる服装で
ご参加ください。



イースターエッグづくり

開催事業を募集します

◎自主企画芸術鑑賞事業

演劇鑑賞・音楽鑑賞などの公演を自主企画し、町民に芸術鑑賞機会を提供する団体に補助します。

対象要件 町内に居住し、自主的に公演などを企画運営する5人以上で構成された団体

限度額 1事業につき対象経費の50%

以内(10万円を限度とします)
◎マイプラン・マイスタディ講座

共に学びたいテーマを、公民館講座として住民自らが企画運営し、地域に開放して行う学習活動に対し、町が講師謝金を負担します。

対象要件 町内に

居住する方が企画運営する講座

で、5人以上の参加があること

限度額 講師謝金

に対して1事業につき2万円を限度とします

※いずれの事業も4月14日(月)～5月8日(木)の間に申込書を提出してください。なお、予算額を超える申請があった場合は調整を行いますので、予めご了承ください。



パークゴルフ場オープン

上富良野町パークゴルフ場は4月29日(火)に本オープンとなります。

仮オープンは残雪の状況により変更になる場合もありますが、4月20日(日)を予定しています。仮オープン期間中は、1日券のみのご利用となります。



シーズン券は4月21日(月)から、パークゴルフ場の指定管理者である株式会社CSTにおいて販売します。

料金は富良野圏域内の方(一般) 1万円、障がい者手帳をお持ちの方 5千円、富良野圏域外の方(一般) 1万5千円となっています。

問合せ (株)CST ☎3210

毎月第3日曜日

「道民家庭の日」には家族で過ごそう!



家族でどこかへ出かけたり、食事をしたりなど、家族との会話、家族と重ねるさまざまな体験は、子どもたちの健やかな成長にはとても重要です。

公益財団法人北海道青少年育成協会では家族と過ごす時間の大切さを考えるきっかけづくりとして、毎月第3日曜日を「道民家庭の日」としています。

また、道民家庭の日「家族ふれあい優待制度」協賛店・施設では、毎月第3日曜日に優待券を持参すると割引などの特典も!

ぜひ、ご家族で足を運んでみては…。

【町内の協賛店・施設】

- ・後藤純男美術館レストランふらのグリル
- ・後藤純男美術館
- ・北海道遺産 土の博物館 土の館
- ・トリック・アート美術館
- ・フラワーランドかみふらの
- ・日の出公園オートキャンプ場

問合せ (公財)北海道青少年育成協会

☎011-231-6451

家庭教育シリーズ 第297号

たくさんさんの体験を

東中小学校長 古川慎一

今年、5年ぶりにスキーをはいて、子どもたちのスキー学習の指導をする機会を得ました。私はスキーというと、大学時代にゼミの教授と一緒にスキー学校に行ったことを思い出します。スキー学校では検定をめざして直滑降、斜滑降など基礎的な滑りから練習しました。

ところが、指導員の説明を聞いてその通りに滑っているつもりなのですが、「あなたの滑り方はダメダメ」と毎回言われて心が折れそうになっていました。

ある時、いつもと違う指導員が私たちのグループにつくことになり、滑り方の説明を受けると、その指導員の説明がすぐよくわかったのです。「そういうふうにはエッジを使うのか」。それからというもの、いつもの指導員の説明も理解できるようになり、なんと3月には検定を通ることができました。

私たち大人が子どもを育てるとき、子どもにいろいろな話を聞かせたり、多くのことを体験をさせることが、子どもの成長の助けとなるのではないのでしょうか。その中で子どもが自分の良さを発見し、生きる力を身に付けてくれればと思います。



保健

国民健康保険被保険者証の
一斉更新

現在、交付している国民健康保険被保険者証の有効期限が4月30日までとなっているため、新しい被保険者証への更新手続きを行います。

町内に住所を有しない学生や遠隔証の交付を受ける方は、お申し出ください。

期間 4月14日(月)～30日(水)

8時30分～17時15分

(土・日・祝日を除く)

場所 町民生活課総合窓口班

(役場1階 ②番窓口)

持ち物 世帯全員分の被保険者証(カード)、印鑑(シヤチハタ不可)

※町内に住所を有しない学生で被保険者証の交付を希望される方は新規、継続ともに「在学証明書」の提出が必要です。

※職場の健康保険に加入した・被扶養者となった方は、職場の健康保険証が健康保険資格取得証明書を持参ください。

注意事項

・更新手続きは、国保の加入世帯ごとに行いますので、世帯主か、世帯内の異動の内容などがわかる方が手続きに来て

ください。
・被保険者証を紛失された場合は、お申し出ください。
問合せ 町民生活課総合窓口班
☎6985

胃がん、大腸がん検診

胃がん検診は受診人数に限りがありますので、早めにお申込みください。

種 類	日 時	対 象	料 金	場 所
胃がん検診	5月29日(木) 6時～6時30分 7時～7時30分 8時～8時30分	30歳以上	69歳以下 1,500円 70歳以上 750円	社 福 健 保 会 セ 合 タ ー ン
大腸がん検診	5月29日(木) 6時～8時30分	40歳以上	69歳以下 1,000円 70歳以上 500円	

※70歳以上は、昭和20年4月1日以前生まれの方です。

問合せ

保健福祉課健康推進班

☎6987

資格試験

毒物劇物取扱者試験

次のとおり行われます。

日時 8月7日(木)

13時～15時30分

場所 旭川市、札幌市、帯広市

受験料 1万1千300円

申込期限 5月9日(金)

申込み・問合せ 富良野保健所

企画総務課 ☎3161



臨時福祉給付金、子育て世帯
臨時特例給付金を支給します

消費税率の引き上げに伴い、子育て世代や住民税非課税世帯の負担軽減を図るため「臨時福祉給付金」と「子育て世帯臨時特例給付金」を支給します。支給は6月以降ですが、申請は受け付けています。平成26年1月1日に住民票があった市町村に申請してください。

防災かみふらの行政だより
インターネット・電話サービス



防災行政無線線を利用した定時放送「防災かみふらの行政だより」でお伝えした内容(おくやみを除く)を、町の行政ホームページに掲載しています。

上富良野町行政ホームページ
<http://www.townkamifurano.hokaido.jp/>

インターネット環境の無い家庭でも、直近の放送内容を電話で確認できる「防災行政無線電話応答サービス」も提供中。

防災行政無線電話応答サービス
○市外局番「0167」の一般電話からは☎0120・45・4560(フリーダイヤル)

○携帯電話など右記以外からは☎0167・45・4567

(一般回線)

問合せ 町民生活課自治推進班
☎6985

臨時福祉給付金

平成26年度市町村民税の賦課が確定する6月に、支給対象者へ案内を送付します。

支給対象者 平成26年度分市町村民税非課税者(市町村民税課税者に扶養されている方、生活保護受給者を除く)

支給額

・基本分 1人につき1万円
・加算分 対象者で老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金、児童扶養手当、特別児童扶養手当の受給者などは1人につき5千円

☐子育て世帯臨時特例給付金

町から児童手当を受給している方には、6月の現況届の案内に申請書類を同封します。

公務員の方には、各職場から案内があります。

対象児童 中学生以下

支給額 1人につき1万円

支給対象者 平成26年1月分の児童手当受給者で、平成25年度の所得が限度額未満の方

問合せ

保健福祉課福祉対策班

子育て支援班

☎6987

産業

新規開業等支援事業

中小企業者などが行う新規開業、新規事業展開に伴う経費の一部を助成します。

助成内容

①事業費補助金

対象経費の50%

(上限150万円)

②雇用奨励金 上限50万円

③家賃補助金

対象経費(月額)の50%

(上限5万円×12月)

申込み・問合せ

産業振興課商工観光班

☎6983

ご活用ください
担い手サポート奨励金

町では農業、商工業の後継者育成のため「担い手サポート奨励金」事業を実施しています。

内容 農業、商工業(自営に限る)の後継者に対し、奨励金を2年間支給します

対象者 町内に住所を有し、今後2年以上居住する見込みのある方で、専業で農業、商工業の後継者として新規に従事する満45歳以下の方



交付額 総額48万円
(24万円/年×2年間)

交付時期 9月と3月の年2回

で、1回の交付限度は12万円

交付認定 はじめて奨励金交付を申請する方は事前に交付認定が必要ですので、左記へお問合せください

申込み・問合せ 産業振興課農業振興班・商工観光班

☎6984・6983



広聴

パブリックコメント

平成26年度に行うパブリックコメントは、保健福祉課による次の3件を予定しています。

●上富良野町 新型インフルエンザ等対策行動計画

期間 6月10日～7月10日

●上富良野町 子ども・子育て支援事業計画

期間 10月10日～11月10日

●第6期介護保険事業計画・高齢者福祉計画

期間 12月25日～1月25日

問合せ 町民生活課自治推進班
☎6985

セイヨウオオマルハナバチの
駆除にご協力ください

セイヨウオオマルハナバチは、野菜のハウス栽培で受粉作業を省力化するために国外から持ち込まれましたが、一部が逃げ出して野性化し、富良野地区でも数多く確認されています。繁殖すると、在来種や植物への影響が懸念されます。

女王蜂が活動を始める春に1頭を駆除すると、最盛期の巣1個分、およそ5千頭を駆除するのと同じ効果があるといわれ、平成25年の上富良野町内での駆除実績は1,389頭で、うち女王蜂が421頭となっています。

女王蜂は大型で尻が白く、大きな羽音で飛びます。見つけたら駆除を、営巣場所を発見した場合は連絡をお願いします。



セイヨウオオマルハナバチ防除従事者
従事者番号上川第004号
江良義正(南町3丁目) ☎090-3775-3353

今年の年金のお話

～学生納付特例制度～

学生納付特例制度は、前年の所得が一定額以下の学生が保険料を未納のまま放置することによって、年金を受け取ることができなくなることを防ぐため、本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。

また、追納できるのは、追納が承認された月からさかのぼって10年以内の分に限られ、3年以上前の保険料を追納する場合には加算額が上乗せされますので、早めの追納がおすすめです。

申請場所・問合せ

旭川年金事務所

☎0166・27・1611

町民生活課総合窓口班

☎6985

【広告】

有料広告募集!

広報かみふらのでは、毎月10日号に掲載の有料広告を募集しています。詳しくはお問合せください。

4.5 cm × 8.5 cm 5,000 円

4.5 cm × 17.5 cm 10,000 円

申込み・問合せ 町民生活課自治推進班 ☎6985

4月から
8%
あなたの医療・年金・介護・子育てを守るため、消費税のご負担をお願いします。
今回の消費税率引き上げ分は全て医療・年金などにあてられます



うちの
元気印



い や ま と お り い な り
伊山 十夢 利偉 菜里ちゃん
(6歳6か月) (3歳4か月) (9か月)

♡学さん・亜砂子さんの♡

3人は、お父さんとお風呂に入るのが大好き♡
これからも3人仲良く、明るく元気に成長してほしいです。
(亜砂子さん)



や ま な か か れ ん せ い ら
山中 迦凛 星来ちゃん
(1歳) (2歳9か月)

♡光輝さん・真砂美さんの♡

妹思いの優しい星来と、お姉ちゃんが大好きな迦凛。

いつまでも仲良く元気で健康に育ってね♡

(真砂美さん)



就学前までのお子さんを募集しています。
町民生活課自治推進班 ☎6985

役場のお仕事

「教育振興課学校教育班」の巻

童・生徒の就学に関する事など、教育委員会が行う学校教育に関する事務の実働組織といえます。
ほとんどが学校を介してのやり取りのため、町民の皆さんとは直接的な接点を持つ部署ではないので、職員によると「事務所ってどこにあるの?」と聞かれることもあるのですが、社教センターの事務所の奥のブースで人知れず、子どもたちのびのびと元気に、楽しく学べる環境づくりのため日夜「縁の下力持ち」として、多岐にわたる事務をこなしています。

今月は役場庁舎を出て、社会教育総合センターに事務所がある教育振興課学校教育班のお仕事のご紹介です。
教育振興課は一般行政の執行機関である町長部局とは別に、町内の教育行政を専門的につかさどる独立執行機関「教育委員会」の事務局。
2つある班のうち、学校教育班はその名の通り学校教育に関する業務を担当しており、学校の設置・管理・廃止、校舎や教員住宅の整備・管理、教職員の人事や研修、学校の組織編制、教科書やそのほかの教材の選定、児



子どもたちの未来のために机に向かう職員

は教育委員会、学校、そして子どもたちが暮らす地域と家庭、それぞれがバラバラであつては、解決への糸口は見いだせません。
教育行政の専門機関の事務局として、それらの間に立つて意見をまとめ、連絡調整をし、子どもたちが「教えられ、育まれる」環境を整える下準備をする…。学校教育班のお仕事は組織と組織、人と人、そして過去と現在を未来へとつなぐ「橋渡し役」となつて、子どもたちの健やかな成長を陰ながら「お手伝い」することなのです。

3月31日をもって閉校となった東中学校。来年3月には江崎小学校が104年もの歴史に幕を下ろします。時が流れ、時代が移り変わり学校の教育現場、子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。
しかし、教育とは文字どおり人を「教(おし)え、育(はぐく)む」こと。その根幹は、いつの時代にあつても変わるものではありません。
いじめ、不登校、体罰、学力と体力の低下、児童虐待、非行。さまざまな要素が複雑に絡み合ったこれらの問題

ねえねえ 見て見て! わたしの ちょこっと自慢

富町2丁目 久保孝祐さんの
バードカービング



鳥のさえずりが聞こえそう?

「色塗りで嫌になることもあるけど、やっぱり生きてるような鳥を作りたいね。上達しても、羽の浮いた感じは今でも難しい。我流だから、細かいところはいいかげんだけどさふ」と冗談を言いつつも、新たな作品づくりを楽しんでいるそうです。

バードカービングとは、一つの木片から作る野鳥の彫刻のこと。久保さんは、木片を小刀や焼きこてで一本一本削り、細かい羽毛もしつかり表現。玄関には丁寧に着色された、本物そっくりの鳥たちが80羽以上も飾られていました。



羽が細かいコノハズク

あなたの「ちょこっと自慢」をお寄せください! 町民生活課自治推進班 ☎6985

広報かみふらの 2014.4 18

富良野広域情報

富良野市「富良野市内限定販売赤ワイン」

富良野市内で「ふらのワイン(赤)720ml」を特別価格、期間・数量限定で販売しています。ぜひ、この機会に地元産ワインをお楽しみください。

市内の酒販店に取り扱っています。

価格 953円(税抜)

期間 3月15日～5月6日

本数 限定 24,000本

問合せ ふらのワイン工場

☎3242

中富良野町「フラワーパーク・森林公園 5月1日オープン(予定)」

春の陽気に包まれ、いよいよ花の季節が始まります。

四季折々に色彩の変ぼうを見せる公園。自然を身近に感じられる場として親しまれています。

ご家族みなさんでお楽しみください。

問合せ 中富良野町役場産業建設課

☎2123

南富良野町「南富良野ザ・ヘルシーカツ丼」

町内で衛生駆除されたエゾシカ肉の「エゾカツ(エゾ風カツレツ)」を、各店オリジナルのソースにくぐらせたソースカツ丼です。

町内の飲食店3店舗で提供していますので、南富良野町にお越しの際はぜひ、ご賞味ください。

問合せ 南富良野エゾシカ料理推進協議会(町商工会)

☎2605

占冠村「道の駅『自然体感じむかつぶ』」

雪が解け春を迎えた5月には、道の駅の前で山菜市が催されます。採れたての山菜や占冠ならではのヤマメの塩焼き、エゾシカのローストビーフが並び、占冠村の味を堪能できます。

ドライブの際にはぜひ、道の駅にお立ち寄りください。

問合せ NPO法人占冠・村づくり観光協会 ☎8010

町内3つの障がい福祉サービス事業所(なないろニカウ、北の峯学園上富良野事業所、ヒューマンインターフェイス)での出来事を月替わりでお伝えします！

60代までの幅広い年齢層で笑いの絶えない明るい職場です。1日の作業時間は2～4時間で、一人ひとりの状態に合わせて時間を決めることができます。仕事はパソコンを使つてのビデオやDVDの出品が中心で、自分で出品した商品が売れたときにはうれしく思い、注文が



笑いの絶えない職場です♪

身体障がいや、精神・知的などの障がいのある人が仲間と一緒に学んでおり、開所当時は利用者数も少なく寂しかったですが、今では利用者13人、スタッフ5人で、20

入ったときの發送や梱包など、別の仕事を習得するたびに成長を感じます。また、その日の体調に合わせてシールはがしやディスクの研磨などの軽作業をしたり、得意な方は縫い物や写真立てづくりなど、ものづくりの仕事もできます。

障がいをお持ちの方で、ヒューマンインターフェイスに興味のある方はぜひ一度、見学に来てみませんか？

まだまだ紹介したいことがたくさんあるのですが、今回はここまで。次回は、とあるメンバーさんの一日を報告する予定です。お楽しみに！



「ファイヤーマンから炎のメッセージ」
大型水槽車を更新しました！



小型動力消防ポンプ付き水槽車(大型水槽車)が、2月28日付けで上富良野消防署に配備されました。平成2年から25年間使用した小型動力消防ポンプ付き水槽車を更新したもので、平成25年度特定防衛施設周辺整備調整交付金により導入されました。旧車両と比較して走行性能はもとより、消火能力においても新装備の泡消火薬剤混合装置により、積載水と消火薬剤の混合液を用いることで、従来よりも少ない水量で高い消火効果を発揮することが可能となっています。



配備された多機能な大型水槽車

新しい車両は配備されましたが、出動するのは災害などから皆さんの生命と財産を守るため。願わくは、皆さんが何事もなく平和に暮らし、1件でも出動する機会が少なからんことを...

納部には大型排煙機をはじめ、山岳救助の際にも活躍するロープレスキュー資機材、林野火災などに使用する背負式消火水のうも納められ、幅広い消防活動用資機材を積載。多様化する各種災害の現場で、遭遇するさまざまな場面に柔軟に対応できるよう随所に工夫が施されています。

また、タンク本体に専用の蛇口付き給水配管を取り付けることにより、大規模災害時や断水時には給水支援車としても活躍することが出来ます。

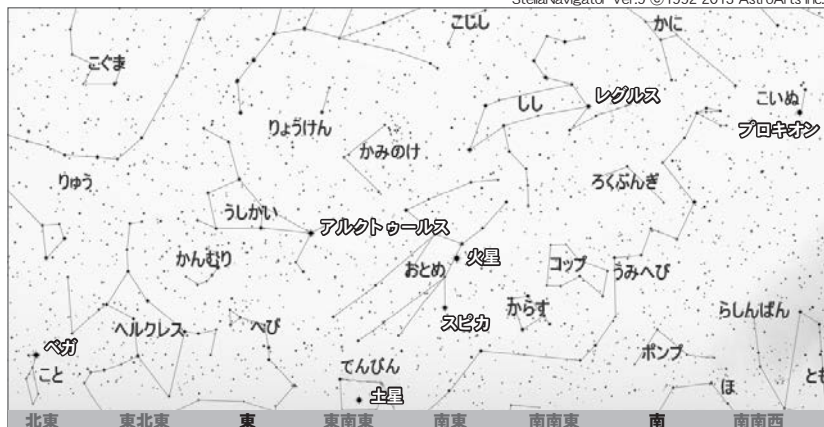
問合せ 上富良野消防署 ☎2119

夜空を見上げれば...

問合せ
教育振興課社会教育班 ☎45511

☆4月の上富良野の星空は...

StellaNavigator Ver.9 ©1992-2013 AstroArts Inc.



上の図は4月23日の午後8時の上富良野町の星空です。春の星座では乙女座、獅子座が代表ですが、東の低空に昇ってくる「かんむり座」を見つけてみましょう。中心の一番明るい星のアルフェッカでも2等星ですが、7つほどの星々が半円状に並んでいて、見つけやすい星座です。4月20日の午後8時ごろだと東の空、地平線から約30度の高さにかんむりを左に傾けた形で見えています。神話では、お酒の神様ディオニュソスが妻アリアドネに贈った7つの宝石をちりばめた美しい冠とされています。

かんむり座の上に見えているのが「うしかい座」。この星座にある明るいオレンジ色の星「アルクトゥールス」は全天で4番目の明るさを誇っています。そして、おとめ座には、4月14日に地球に最接近する火星がとても明るく輝いています。地球に近い惑星なので明るさの変化が大きく、星座を背景に大きく移動して見えます。1週間ごとにほかの星との位置関係を比べてみると、その動きの大きさがよくわかります。

東南東の低空には「てんびん座」とともに、黄色く輝く土星が昇ってきます。美しい「環(わ)」を持つ土星ですが、倍率が7倍程度の双眼鏡でも気流の条件さえ良ければ「斜め縦長」に見ることができます。「環」が斜めになった格好です。双眼鏡をお持ちの方はぜひ、挑戦してみてください。

4月15日は満月で、月食が見られます。ただし、今回は月が欠けたまま東南東の地平線から昇ってくる月出帯食(げっしゅつたいしょく)で、月の出後20分ほどで終了します。ちなみに、この日の上富良野での月の出は午後6時13分、月食終了は6時33分です。

そのほかの気になる4月の天文現象として、23日未明に「こと座流星群」が、流星が最も多く現れる「極大」となります。月明かりがあり、数もそれほど多くはありませんが、流星の中でも特に明るい「火球(かきゅう)」と呼ばれるものが多く注目です。ぜひ、星空を見上げてみてくださいね!

たくさんの善意
ありがとうございました

町立病院へ

◎瀬角さとみさん、高橋みゆきさん
2万円

ラベンダーハイツへ

◎瀬角さとみさん、高橋みゆきさん
2万円

◎上富良野町赤十字奉仕団

ティッシュペーパー50箱
清拭用布420枚

◎菅原妃富美さん 3万円

◎辻正一さん 3万円

◎村上裕二さん 3万円

社会福祉協議会へ

◎久保健造さん 5万円

◎十鳥蓉子さん 3万円

◎サッポロビールホップ会 2万円

◎廣川ミヤコさん 5万円

◎一色武松さん 5万円

◎老人クラブ連合会 雑巾85枚

5月の天体観望会

NPO法人東亜天文学会会員の犬上達也さんを講師に、月や木星、火星、土星をはじめ星雲、星団を天文台の望遠鏡を使って観察するほか、屋上で解説を聞きながら春の星座を眺めます。

悪天候の場合は、16時以降に中止の連絡をします。参加料は無料です。

日時 5月7日(水) 20~21時

場所 上富良野西小学校チャレンジ天文台

定員 25人(中学生以下は保護者同伴)

申込期限 5月1日(木)

申込み・問合せ

教育振興課社会教育班 ☎45511

発行日 平成26年4月10日

発行 上富良野町

編集 町民生活課自治推進班

印刷 (株)総北海

ご意見・ご感想をお寄せください。

☎071-0596

北海道空知郡上富良野町

大町2丁目2番11号

☎0167456985 FAX0167455362

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/>

jichi@town.kamifurano.lg.jp

●人のうごき●

平成26年3月31日現在

()は前月比

住民登録

人口 11,333人 (-143)

男 5,688人 (-68)

女 5,645人 (-75)

世帯 5,179世帯 (-30)

外国人住民 ※住民登録の内数

人口 32人 (+1)

男 12人 (+1)

女 20人 (±0)

世帯 20世帯 (±0)



畑にまかれた融雪剤。まるで広大な雪のキャンパスに描かれたアートのようにも... ~江花地区にて~

